

熊本でサッカーを“プレーする・応援する・支える”すべての人に

KFA NEWS

Kumamoto Football Association News ▶ <https://kumamoto-fa.net/>

2024.10

AUTUMN

No.26

熊本県サッカー協会広報紙

2024年10月15日発行 通算第110号

発行者／一般社団法人 熊本県サッカー協会 広報委員会

特集1 JFAキッズプログラム・キッズ巡回指導

子ども達がサッカーに触れ、
思いっきり体を動かす機会を！

日本サッカー協会(JFA)が、外で遊ぶ機会が減った子ども達に遊びや運動を通じて健康な体作りを行うと共に、チームワークやスポーツマンシップを育んでもらおうと始めた取り組み「キッズプログラム」。その一環として、熊本県サッカー協会では、県内の幼稚園・保育園・こども園を対象に、「キッズ巡回指導」を年100回以上実施しています。



2024年度のキッズ巡回指導は、熊本市内はもちろん、宇土、八代、人吉、天草、荒尾など、県内各地で、すでに110回を超える開催を予定しています。巡回指導は、1回目が無料、2回目以降は費用が必要ですが、中には一つの園で年10回近く開催しているところもあります。

巡回指導を受けている園の一つ、宇土市の花園幼稚園では年9回実施。毎回30分ずつ年中組(4歳)、年長組(5歳)に分かれて行っています。メニューは、ゲーム形式でサッカーを楽しむのももちろん、鬼ごっこやボールを蹴る・止めるといった基本的な動作など、サッカー以外の要素も盛り込みながら、子ども達に体を動かす楽しさを教えます。

指導に当たるのは、熊本県内のクラブチームのコーチなど。この日、花園幼稚園を担当したサイレコ・エスペランサ熊本の田中尚輝コーチは、「ケガのないよう安全面に配慮しつつ、とにかくこの場を楽しんでもらえれば嬉しい。巡回指導を通じて、子ども達の出来ることを増やしてあげられれば」と話します。



花園幼稚園の園児達。回を追うごとにコーチ陣にも慣れ、今では“お兄さん”のように慕っています

園児の保護者達も
我が子の成長を実感

また、同園の古川公雄園長は、「子ども達が笑顔で楽しそうに走り回っている姿を見ると、『やって良かった』と思います。また、コーチ達が何もかも指示するのではなく、子ども達に考えさせる機会を与えるなど、私達にとって学びがある時間。今後もぜひ続けていきたい」と巡回指導の効果を実感しています。

指導を受けている子ども達からも、「ボールを上手に蹴れた時が楽しい」「コーチが優しい」など、嬉しい感想が。コーチ達が、「言ったことを素直に聞いてすぐに吸収するので、上手くなるのも早い」というように、毎年最後の巡回指導時に行っている親子サッカー大会では、「いつの間にかこんなに上手くなったの!」と驚く保護者も多いとか。

県サッカー協会では、今後もより多くのキッズ年代の子ども達がサッカーに触れる機会を増やすために、各クラブと連携しながら巡回指導を続けていきます。

用具の貸出を行っています！

熊本県サッカー協会では、所属チームやクラブ、都市町協会などへ、サッカーゴール(少年用)、フットサルゴール、などの用具貸出を行っています。ご希望の方は、県協会事務局(☎096-247-6980)までお問い合わせください。

※一部使用料・協力金をいただきます。
※貸出用具の一部はtoto助成事業にて購入しています。

貸出用具の詳細などは
熊本県サッカー協会ホームページで
ご確認ください

アレが
足りない…コレが
ない…

KFA NEWS

熊本県サッカー協会広報紙

広告協賛募集中

熊本県サッカー協会では、熊本のサッカー情報や活動状況をより多くの皆様にお伝えするために、本協会に所属していただいている会員(チーム)向けに機関紙「KFA NEWS」を発行して参りました。

2015年度から、さらなる紙面の充実と親しまれる広報誌にするために「KFA NEWS」のリニューアルを行い、広告協賛を募集しております。

仕 様：タブロイド版・8ページ 横273mm×縦406mm
内容 発行部数：5,000部／1回
配布対象：会員(約600チーム)、公共施設、スポーツ施設、各種イベント

詳細は熊本県サッカー協会ホームページよりご確認ください。

ロアッソ熊本20周年記念対談

原田 拓

岡本 賢明

変わる
熊本のサッカー環境とこれから

「熊本にJリーグチームを」との思いから生まれたロアッソ熊本。間もなくチーム設立20周年を迎えます。それを前に、今回は、クラブの歴史を彩った選手であり、現在もクラブのアカデミーでジュニアユース、ユース世代の発掘・指導に当たっている原田拓さんと岡本賢明さんに、県サッカー協会広報委員長の風戸南陽子さんが話を聞きました。

風戸 お2人は共に、県内の強豪高校を経てJリーグで活躍。ロアッソ熊本で現役を引退し、現在はアカデミーの指導者としてクラブを支えているという立ち場ですが、どんな仕事でしょうか。

原田 私は「サブ」なので、当然、上にダイレクターがいます。会社で言えば中間管理職的な立場(笑)。現在は、主にスカウティングを行っています。

風戸 最近、フランスにも研修に行かれたそうですね。

原田 現場のトップである織田GMが育成にとても力を入れてくださっていて、その一環としてマルセイユのアカデミーの視察に行きました。

岡本 私も今年、イングリッシュ研修に行かせてもらいました。アカデミーのスタッフ、2人も海外クラブのアカデミーを経験出来るなんてなかなかいいですね。

風戸 それが、ロアッソのアカデミーでの指導にも活かされるわけですね。

原田 私たちが海外で得た経験をスタッフや子ども達ともしっかり共有し、今の世界の基準がどういうものかを練習や指導に落とし込んでいき、より多くの選手をトップチームに輩出できるようにするのが役割だと思っています。ただ、アカデミーで育成した子がトップチームに上がったとしても、チャンスがもらえないければその先の成長が難しい。ロアッソの場合は、大木監督が若い選手にもしっかりチャンスを与えてくれるので、トップとアカデミーの一体感があるなと感じます。

風戸 本場にいいクラブですし、そういう環境でサッカーが出来る子ども達も幸せですね。お2人とも高校卒業後にJリーグに進みましたが、「プロになりたい」という思いはいつ頃から芽生えていましたか？

原田 私の母校の大阪高校は、先輩方ですでにJリーグ入りした人たちがいました。私も、高校2年生ぐらいからクラブのスカウトの方々が来て、声を掛けてもらったりするようになってプロを意識し始めました。ただ、当初は大学進学を希望していました。残念ながら勉強が苦手でそこからは諦めました(笑)。

風戸 岡本さんの最初の所属であるコンサドーレ札幌入りのきっかけは？

岡本 中学時代に、全国中学校大会に出場して、会場が北海道の帯広市でした。その時にコンサドーレのスカウトの方の目に留まり、それから高校までずっと追いかけてくださいました。

風戸 現在の原田さんの役割は、まさにそういったスカウト活動ですね。

原田 今は、アカデミーのスカウト時期も、徐々に早くなっています。以前はジュニアユースだと小学6年生から、ユースだと中学3年生ぐらいからスカウトするのが主流でした。しかし、今はジュニアユースで小学4年生、ユースで中学1年生ぐらいから声を掛けたりします。早くなった理由の一つは、熊本のジュニアの選手のレベルがとても高く、全国から注目されているからだと思っています。

岡本 全国的に見ても熊本の4種は盛んで、良い指導者もたくさんいますからね。

風戸 お2人がJリーガーになった当時、すでに県出身の先輩方も活躍していましたが、憧れていた選手などはいましたか。

原田 私は、ロアッソの先輩でもある山口武士さんですね。岡本 一番印象が強いのは、やはりワールドカップ日本代表にも選ばれた巻誠一郎さんですね。風戸 原田さんが来た当時の

ロアッソ熊本は、まだクラブハウスも専用練習場もない時代ですよ。

原田 練習場もいらないところに行きましたし、練習着の洗濯も自分で持ち帰ってやっていました。そうした環境が改善されるきっかけになったのが、2009年の藤田俊哉さんの加入でした。練習でもそれ以外でも、たくさん得るものがありました。さまざまな面でロアッソの基準を引き上げてくれた方です。

岡本 原田さんや藤田さんといった多くの先輩方の努力のおかげで、私たちの時代には、すでに環境が整備された状態でスタート出来たので、とても感謝しています。

風戸 そうやって歴史を重ねてロアッソも20周年を迎えました。ロアッソが、改めてどう感じますか。

原田 私が関わっているのは10年ぐらいですが、熊本にロアッソというチームがあり、サッカーを通じて非日常を味わってもらえるのは、とても素晴らしいことだと思います。一方で、この環境を維持するにはたくさんの方の努力が必要で、決して「当たり前」ではないという感謝の気持ちが必要だと思っています。それは、アカデミーの子ども達にも常に話しています。

岡本 20年前は高校3年生でしたが、天皇杯の県予選決勝で当時のロッソ熊本と対戦して負けたんですが、それがロアッソとの初めての関わりですね。今ではしっかりとJリーグクラブとしての地位を築いていますが、ここに至るまでの歴史や先輩方の努力を大事にしながら、クラブとしての価値を高めていければと思います。

風戸 熊本のサッカー界の現状は、どう見えていますか？

岡本 熊本県フットボールセンター(COSMOS)が出来たり、ハード面での整備も進んでいますし、九州のほぼ真

PROF

1982年、熊本市生まれ。県立大津高校卒業後、名古屋グランパス(2001~2003)に入団。その後、大分トリニータ(2004~2005)、川崎フロンターレ(2005~2008)を経て、2009年からロアッソ熊本へ移籍し、チームの主将を務める。2014年に現役を引退し、現在はロアッソ熊本アカデミーのサブダイレクターとして後進の育成に当たっている。

原田 拓

1988年、熊本市生まれ。ルーテル学院高校卒業後、2006年にコンサドーレ札幌に入団。選手会長や副キャプテンなども務め、2014年シーズンにロアッソ熊本に移籍。2017年に現役を引退。現在は、ロアッソ熊本ユースの監督を務め、将来のロアッソを担うユース世代の育成に尽力している。

岡本 賢明

コンプライアンス委員会について

2021年4月、一般社団法人熊本県サッカー協会(以下、「本協会」)は「倫理・コンプライアンス方針」を公表し、それに伴って「倫理規範」と「コンプライアンス規程」を制定しました(詳細は本協会ホームページに掲載していますのでご一読ください)。

「倫理規範」は「人として、また職務上で自ら守らなければならない行動基準」であり、本協会の組織運営、各種事業の推進に関わるすべての関係者は、社会的責任を果たしつつ、本協会の理念を追求し、高いレベルの倫理観により誠実に、かつ公平・公正に行動しなければならぬことを謳っています。

「コンプライアンス規程」は、倫理規範に基づいてコンプライアンス(法令遵守)の取り組みに関する基本的事項を定め、それを適切に運用することによって本協会におけるコンプライアンスの徹底を図ることを目的としたものです。コンプライアンスへの取り組みは経営の基本方針の一つであり、経営の最重要事項となります。コンプライアンス規程では、コンプライアンス体制を整備・推進するためにコンプライアンス委員会(以下、「委員会」)の設置が定められています。

当委員会は2023年7月に設置され、3名の副会長が委員(内1名が委員長)となり、事務局は専務理事が担当して

コンプライアンスの強化を通じて
安心安全なサッカー環境の提供を

2021年4月、一般社団法人熊本県サッカー協会(以下、「本協会」)は「倫理・コンプライアンス方針」を公表し、それに伴って「倫理規範」と「コンプライアンス規程」を制定しました(詳細は本協会ホームページに掲載していますのでご一読ください)。

「倫理規範」は「人として、また職務上で自ら守らなければならない行動基準」であり、本協会の組織運営、各種事業の推進に関わるすべての関係者は、社会的責任を果たしつつ、本協会の理念を追求し、高いレベルの倫理観により誠実に、かつ公平・公正に行動しなければならぬことを謳っています。

「コンプライアンス規程」は、倫理規範に基づいてコンプライアンス(法令遵守)の取り組みに関する基本的事項を定め、それを適切に運用することによって本協会におけるコンプライアンスの徹底を図ることを目的としたものです。コンプライアンスへの取り組みは経営の基本方針の一つであり、経営の最重要事項となります。コンプライアンス規程では、コンプライアンス体制を整備・推進するためにコンプライアンス委員会(以下、「委員会」)の設置が定められています。

当委員会は2023年7月に設置され、3名の副会長が委員(内1名が委員長)となり、事務局は専務理事が担当して

コンプライアンス強化は、不祥事が発生した時の一時的な取り組みで実現できるものではなく、日々の積み重ねによって実現されるものです。常設された当委員会が定期的かつ継続的に活動し、不祥事根絶のために積極的に課題や問題点を洗い出し、サッカーファミリー等の関係者と問題を共有するプロセスは継続的に行われなければなりません。特に、コンプライアンス強化の観点から、どのような部門(経理処理、各種委員会、競技力向上等)をどのように重点的に強化していくか、誰に対して重点的に研修プログラムを実践していくか、等々の取り組みを行う必要があります。さらに、当委員会の設置目的を踏まえてその権限を確立していかなければなりません。本協会がサッカーファミリーと共にコンプライアンス強化に地道に取り組むことによって初めて、安心安全なサッカー環境を提供できると考えます。

最後に、久しくコンプライアンスの徹底が叫ばれてきましたが、本協会のコンプライアンスの取り組みはまだまだ始まったばかりで道半ばです。本協会の社会的信用を向上させるためにサッカーを愛するサッカーファミリーの総力を結集してコンプライアンス強化を進めていきたいと思います。

2024年度
定時総会を開催

「全国有数のサッカー王国に」着々と 誰もがサッカーを楽しめる環境整備を！



開会に先立ち行われた協会表彰では、県サッカー協会功労者を合澤正裕様、岩崎珠美様が受賞。緒方健司賞は、稲津王彦様、曾我誠司様、岩下さおり様、喜田由貴様の4名に贈られました。代表として、岩崎様が「皆さんに教えられ、支えてもらうことばかりですが、これからも女子委員会や協会理事など、自分に与えられた役割を一生懸命務めていきたい」と謝辞を述べました。

その後、定時総会へと移り、河田信之会長が「昨年(2023年)は、ソレックス熊本のU-12全日本選手権優勝、大津高校の高校選手権ベスト4、ロアッソ熊本の天皇杯3位と、各カテゴリーで県勢の活躍があった。これも、県のサッカーファミリーのサポートがあればこそ。協会

6月9日、一般社団法人熊本県サッカー協会の2024年度定時総会を、嘉島町民会館2階会議室で開催しました。当日は、併せて県サッカー協会功労者並びに緒方健司賞の表彰式も実施。栄誉ある賞を受賞した方々を称えました。

開会挨拶でサッカーファミリーへの感謝を述べる河田信之会長



としても、熊本県フットボールセンターCOSMOSなど、ハード面も含めて皆さんを支えていきたい」と開会の挨拶を行いました。続く来賓挨拶では、ロアッソ熊本を運営する(株)アスリートクラブ熊本の藤本靖博社長が、県サッカー協会やサッカーファミリーの日頃のサポートに感謝を述べると共に、J2リーグ戦後半での巻き返しを誓いました。

普及や、登録者の維持・増加で課題も

この日の総会には65人が出席。議事では、2023年度の事業報告に始まり、決算報告並びに監査報告、理事及び監査の選任並びに名誉会長及び特別顧問等の承認など、第1〜4号までの議案が諮られ、いずれも満場一致で原案通り承認されました。続いて2024年度事業計画及び収支予算などが行われました。2024年度事業計画の具体的取り組み内容では、「普及」に関して、4種年代の学校部活動から社会体育への移行、3種年代の部活動から総合型クラブへの移行に伴い、県内各地域協会と連携を図りながらキッズを含めた3種・4種年代の普及促進につながる新たな事業の企画・

2023年度熊本県サッカー協会表彰式

緒方健司賞

稲津 王彦様 | 曾我 誠司様
岩下さおり様 | 喜田 由貴様



写真左から曾我様、喜田様、河田会長、岩下様、稲津様

熊本県サッカー協会功労者

合澤 正裕様 | 岩崎 珠美様



写真左が岩崎様
(合澤様は欠席)



挨拶に立った(株)アスリートクラブ熊本の藤本靖博社長

実行の必要性などが盛り込まれました。加えて、「登録者数の維持・増加」では、キッズからシニアへと世代移行に伴って環境が変化する中でもサッカーを続けられるような事業の企画・実行に取り組むこととしました。COSMOSも2年目を迎え、県サッカーの強化・育成の拠点としての機能を徐々に発揮しつつあるだけでなく、各カテゴリーで全国レベルの活躍が見られるなど、協会の基本構想の一つに掲げている「熊本を全国有数のサッカー王国に」の実現に向け、着実に成果が上がっています。熊本県サッカー協会では、今後もサッカーファミリーが安心安全にサッカーを楽しむための環境整備を含め、さらなる県サッカー界の発展を目指して邁進していきます。

2024年度 定時総会



総会の最後に行われた退任理事の挨拶

サッカー
応援番組

KICK OFF! KUMAMOTO

キックオフ!クマモト

ロアッソ熊本から小中高校の情報まで 熊本のサッカー情報満載の番組

熊本でのサッカー普及促進につなげるべく、サッカー好きな人は、もちろん、サッカーに興味がない人にも興味を持ってもらうために、「ロアッソ熊本」の直近試合の解説を元ロアッソ熊本の小林弘記さんが分かりやすくかつ深く分析します! また、月1回、選手をクローズアップするコーナーを設け、普段見ることができないロアッソ熊本の選手たちの素顔を伝えます。さらに、熊本県内で行われる小学、中学、高校などのサッカー情報も取り上げます!

「KICK OFF! KUMAMOTO」好評放送中!



毎週土曜日11:35~11:50
(熊本県民テレビ)

出演: 小林弘記(元ロアッソ熊本GK)
倉本 彩(KKTアナウンサー)



13チームが熱戦を展開し、優勝チームは全国へ！



このコーナーでは、県サッカー協会が主催・主管する県内のサッカー大会やイベントの様子を紹介します。

第34回全日本U-12フットサル選手権大会熊本県大会



準優勝／嘉島セレシアFC



優勝／サイレコ・エスペランサ熊本①

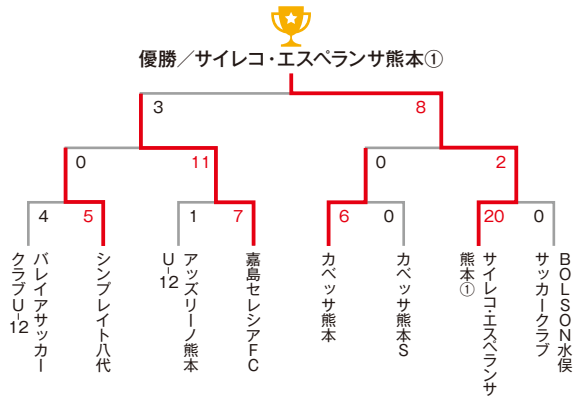
5月11日・12日の2日間、ウイングま
つばせで「JFAバーモントカップ第34
回全日本U-12フットサル選手権大会」の
熊本県大会を開催しました。大会には13
チームが参加し、3〜4チームずつ4グ
ループに分かれての予選リーグを実施。
各グループの上位2チームが決勝トーナ
メントに進出し、優勝を争いました。
その結果、サイレコ・エスペランサ熊
本①が優勝を飾り、8月に東京で行われ
る全国大会出場の切符を掴みました。そ
の他、準優勝は嘉島セレシアFC、3位
はカベッサ熊本となり、両チームは、12
月に大分で行われる九州ジュニアフット
サル大会に出場します。



4位／シンブレイト八代



3位／カベッサ熊本



誰もがスポーツを楽しめる環境づくりを！

KFA第10回熊本スカンビオ・カップフットサル大会 開催

県内外から
約250人が参加し、
賑やかな1日となりました

5月11日、COSMOS(熊本県フットボールセンター)で「KFA第10回熊本スカンビオ・カップフットサル大会」を開催しました。「スカンビオ」とは、イタリア語で「交流」を意味する言葉で、フットサルを通してさまざまな障がいを抱える人たちが交流する機会を設け、障がいに負けない「生きる力」の獲得や生活の質向上に繋げることを目的に開かれています。

当日は、5歳から50歳までの幅広い年代が集まり、見学者を含めて約250人が参加。熊本だけでなく、鹿児島、大分、福岡、山口など、九州各地からの参加者もありました。フットサル大会では、ソレッソ熊本FIDサッカークラブが優勝。さらに、リレー&クイズ大会や相撲大会なども催され、参加者も見学者も盛り上がりました。また、クイズ大会などの賞品には、大会に協力してくださっているロアッソ熊本やサガン鳥栖のチームグッズなどが提供され、もらった参加者たちは大喜びでした。

今後もチャレンジド委員会では、障がいを抱える人たちが、フットサルを通して体を動かすことの楽しさに触れ、誰もがどこでもスポーツを楽しめる環境づくりを目指します。



障がいの有無を超え、
サッカーを通じて
スポーツの楽しさを体感した
スカンビオ・カップ



県サッカー協会理事で広報委員長を務めるフリーアナウンサーの風戸南陽子さんが、県内外のサッカーファミリーと対談するこのコーナー。今回は、昨年U-12全日本選手権で優勝を果たしたソレッソ熊本の代表・廣川靖二さんに話を聞きました。

ソレッソ熊本を率い、U-12全日本選手権を制覇 熊本から世界に通用する選手の輩出を目指す！

風戸 昨年(2023年)のU-12全日本選手権優勝おめでとうございませう。その前年にはU-15クラブユース選手権優勝など、ここ数年目覚ましい活躍が続いています。クラブ創立から20年ですが、どのような経緯で立ち上げたのでしょうか。

廣川 大学時代、母校の学園大付属高校サッカー部の外部コーチを務めていました。卒業後、一旦は就職しましたが、しばらく外部コーチだけ続けていました。そんな時、先輩から連絡があり、「息子がキッズサッカーの大会に出たいと言っているから教えて欲しい」と頼まれて引き受けたのがきっかけです。その時の子たちが小学校低学年になった2004年に、正式に協会登録をしてチームを立ち上げました。

風戸 そこから始まり、現在では地元「ソレッソ熊本」だけではなく、宮崎、鹿児島、長崎など4県でクラブを展開するまでになりましたが、全部でどれぐらいの人数がいますか？

「チームの勝利以上に大切なのは一人一人の個性や武器を消さないこと」

廣川 全部合わせると700人弱くらいはいると思います。サッカークラブの運営は、私一人で出来ることは限られているので、保護者コーチなど、ボランティアスタッフがたくさんいるのが理想ですが、うちには一人もいないんです。よりサッカーに特化して子どもたちと向き合い、他の

風戸 コーチ陣も個性豊かな集団なんですね。

廣川 これまでは、クラブチームのスタッフに対しては、「好きなサッカーで食っていくんだから安月給は覚悟しろ」みたいな風潮があったんですが、私は違うと思っています。運営のやり方次第でどうにかできるのではと思います。試行錯誤しているところです。

風戸 昨年、一昨年と立て続けに全国大会で好成績を収めていますが、ここまでの実績は大都市圏



風戸 昨年のU-12全日本選手権で優勝できた一番の要因はどんなところでしょうか？

廣川 やはり、私たち指導陣に余裕があったからかもしれません。あとは、初日に1回負けただけで、結果以上に驚いたのは、子ども達の大会期間中の成長の早さですね。

風戸 子ども達は、全国大会の雰囲気にも慣れてきたりすることはありませんか？

廣川 もちろん緊張はするでしょうしミスもある。でも、ミスしたくても彼らの心は強くない。だから、いかに彼らの心のストレスを緩和するかが大事。その上で「大丈夫だよ」と支えてあげるのか、「君がやるしかないぞ」とはつばをかけるのかなど、一人一人に合った声掛けが必要です。最終的には「楽しんでおいで」ということに尽きますね。チームとして勝つことももちろん重要ですが、コーチたちにはそれ以上にその子の持っている武器や個性を消さないことを意識させています。教えるべきところは教えます。指導者があれこれ口出ししたり、教える必要はないと思っています。

風戸 風戸さん、指導陣に余裕があったからかもしれません。あとは、初日に1回負けただけで、結果以上に驚いたのは、子ども達の大会期間中の成長の早さですね。



ソレッソ熊本
ひろかわ せいじ
廣川 靖二代表

熊本県出身。熊本学園大付属高校、熊本学園大卒。2004年に「ソレッソ熊本」を設立。現在、熊本以外にも宮崎県、鹿児島県、長崎県でクラブを展開。幼児から中学3年までが所属し、クラブ員は熊本で約300人、4クラブ合計で600人を超える。OBには満田誠選手(サンフレッチェ広島)、松岡大起選手(サガン鳥栖)、吉永夢希選手(神村学園高校⇒ベルギー・ゲンク)など多数。

「ソレッソ」は「笑顔」という意味 サッカーを楽しむ気持ちを忘れずに

風戸 それだけ多くの子ども達がいて、それぞれが「楽しむ」というのはとても難しい気がしますが、それが出来るのは、コーチたちの「子ども達の本来の笑顔が見たい」という思いの表れでしょうか。

廣川 「ソレッソ」というクラブ名自体が「笑顔」という意味。私の高校時代の監督の口ぐせが、「笑顔なきものはグラウンドを去れ」でした。とは言え練習はきつかったのでも、「どうやって笑えっ？」という感じで、それが「笑」。

風戸 そのような理念を持つソレッソを築いたOBには、サンフレッチェ広島、満田誠選手、アビスパ福岡、松岡大起選手、川崎フロンターレ、河原創選手、ガンバ大阪、坂本一彩選手。さらに、神村学園高校、鹿児島からベルギーのデントクに行った吉永夢希選手等々。今の若手世代の中でもひと際輝きを放つメンバーを輩出しています。

廣川 名前を挙げてもらった5人以外にも、彼らと同じぐらい上手な子もたくさんいます。そこで大事な要素の一つは「運」。その運を掴むのも、才能の一つだと思います。もちろん、それを掴むためには日々努力を続ける必要があるし、ここぞという試合で活躍しないといけない。

風戸 そういう素晴らしいOBたちがたくさんいると、子ども達にとっても目指すものが明確になりますよね。

廣川 そうだと思います。やはりプロサッカー選手を目指している子がたくさんいる中で、OB達が熊本に帰省したタイミングで練習に顔を出してくれて、子ども達に胸を貸してくれれば、将来的にはクラブのOBから、日の丸を背負ってワールドカップで活躍するような選手が出て来てくれたら嬉しいですね。

風戸 Jリーグのビッグクラブのジュニアユースなどに行かなくても、熊本のクラブでやりながら、全国でもどんどん活躍できる土壌が出来ているのが素晴らしいですね。

人生をより熱く生きる カッコイイ大人になって欲しい！

廣川 うちのクラブに限らず、熊本の少年サッカー全体が、今とても熱いと思います。去年はまたまうちのチームが全国制覇しましたが、熊本には、まだまだ多くのチームにいい子がたくさんいて、若い指導者も頑張っています。そして私自身は、九州の他県にもクラブを持っているので、九州全体のレベルアップを図って、関東や関西との地域差を埋めたいなと思っています。

風戸 ご自身のクラブだけでなく、県内の他のクラブと連携しながら「熊本から世界へプロジェクト」も立ち上げていますね。

廣川 ソレッソ熊本とブレイズ熊本が発起人になり、現在は複数

風戸 クラブとして、今後の目標などはありますか？

廣川 去年は、結果だけを見るととても上手だった年でした。ただ、私がスタッフによく言っているのは、「現状維持は衰退と同じ」。「結果も出たからここでOK」となってしまうと、あとは下がるしかない。さらに上を見てどんどんトライすることが大事だと思います。

風戸 廣川さんの話を聞いてみると、サッカーを通じて「人生を楽しむ」を感じます。

廣川 そうですね。これが天職なのかもしれない。もちろん忙しいし大変ですけど、自分の決めたこと・好きなことだったら頑張れます。



チームの指導者が関わりながらやっています。やはり子ども達は常に刺激を求めているので、他チームの子たちと一緒に練習したり、いつもと違うコーチに指導してもらうことで、刺激を得て成長スピードが増すのを感じます。

風戸 たくさん話を聞かせてもらいましたが、最後に廣川さんの今後の夢を教えてください。

廣川 チームとしての成績で言えば「同じ大会でグループの4チーム全てが上位進出」ですかね。その時にどんな気持ちになるんだろうというのが、自分でも興味があります。あとは、「ソレッソ」が、スタッフにとっても子ども達にとっても心満たされる集団であり続けたいし、そういう環境を提供するのが私の役目だと思っています。

風戸 廣川さんがそんな思いで築いてきたソレッソで育った子ども達には、どんな大人になって欲しいですか。

廣川 いくらサッカーが上手くても、社会に出たらそれほど使えないツールではないですから。それよりも、とにかく熱く生きていてもらいたい。自分の足で立って、自分で責任の取れるカッコイイ大人になって欲しいですね。小中学校の9年間、子ども達の心が最も成長する大事な時期に彼らに関わった大人として、「ソレッソでサッカーを学んだこと」でそういう考え方が出来たこと、思ってもらえれば嬉しいです。

県協会所属チーム紹介

Pick-up! Football Family

Vol.20

このコーナーでは、熊本県サッカー協会に所属しているチームの中から、毎号紹介します。今後紹介してほしいチームも募集しています(自薦・他薦を問いません)。

学業との両立だけでなく、人間的な成長も掲げて活動



▲トレーニングは週2回。熊本県フットボールセンターCOSMOS(火曜)と東町中学校グラウンド(木曜)で実施しています



▲基本的なボールコントロールやパス練習を通じて技術を高めつつ、チームスポーツに必要な協力しあうことの大切さなども伝えています

アルーラ
FC Alura

2 種

- 設立/2023年4月
- 代表/山口 武士
- 選手数/24名

〈チーム沿革〉

- 2023 (令和5)年 チーム設立
- 2024 (令和6)年 高円宮杯JFA U-18サッカーリーグ熊本県3部に加盟



緒方 翔琉さん

進学した高校にサッカー部がなく、どうしてもサッカーがしくてインターネットで調べ、このチームの存在を知りました。学校の部活のように人数が多くないので細かいところまで教えてもらえることと、学校以外の仲間ができるのが魅力です。



高木 幸世さん

小さい頃から兄と一緒にボールを蹴って遊ぶことはありましたが、小中学校のサッカー部や身近なクラブチームがなかったので、チームに所属してプレーするのはここが最初です。楽しみながらも、責任感を持つことやコミュニケーションの大切さを学べていると思います。

▶このチームで初めて本格的にサッカーを始める選手もいるため、プロ選手だった山口さんの経験を活かし、丁寧な指導や細かく分かりやすい説明で成長を促します



鹿島アントラーズやロアッソ熊本でプレーした元Jリーガーの山口武士さんが昨年立ち上げた「FCアルーラ」。高校生年代を対象としたクラブチームはロアッソ熊本のユースチーム以外になく、高校の部活を中退した子や、サッカー部のない高校、通信制の高校で学んでいる子たちにもクラブチームでプレーする選択肢を与えたい」との思いから設立に至りました。

立ち上げから2年目で選手数は24人になり、今年から県リーグ3部に参戦できるよう

中学校の部活を終え、受験勉強と並行して体を動かしたい選手を対象としたU-15のスクールも開設するなど、広く門戸を開いているのも同クラブの特徴。新しい形のクラブチームとして、今後が期待されます。

「サッカーを通じて、出来なかったことが出来るようになる喜びや、仲間や周囲の人を思いやりながら、協力して困難に立ち向かっていくことの大切さを知ってもらうことで、社会に出てから役に立つ『生きる力』を学んでほしい」と話す山口さん。

技術や体力、メンタルなどの向上を目指すとともに、相手と駆け引きするサッカー本来の楽しさも伝えています。とはいえ、チームとして結果を出すことや、プロ選手を輩出することが第一の目的ではありません。「サッカーを通じて、出来なかったことが出来るようになる喜びや、仲間や周囲の人を思いやりながら、協力して困難に立ち向かっていくことの大切さを知ってもらうことで、社会に出てから役に立つ『生きる力』を学んでほしい」と話す山口さん。

鹿島アントラーズやロアッソ熊本でプレーした元Jリーガーの山口武士さんが昨年立ち上げた「FCアルーラ」。高校生年代を対象としたクラブチームはロアッソ熊本のユースチーム以外になく、高校の部活を中退した子や、サッカー部のない高校、通信制の高校で学んでいる子たちにもクラブチームでプレーする選択肢を与えたい」との思いから設立に至りました。

技術や体力、メンタルなどの向上を目指すとともに、相手と駆け引きするサッカー本来の楽しさも伝えています。とはいえ、チームとして結果を出すことや、プロ選手を輩出することが第一の目的ではありません。「サッカーを通じて、出来なかったことが出来るようになる喜びや、仲間や周囲の人を思いやりながら、協力して困難に立ち向かっていくことの大切さを知ってもらうことで、社会に出てから役に立つ『生きる力』を学んでほしい」と話す山口さん。

熊本市中学校トレセン

3 種

中学校部活生にも輝ける場を！指導者にとっても学びの場



▲7月初旬に行われたU-13の第2回選考の様子。ウォーミングアップのあと、3つのチームに分かれ、ポジションなどを話し合います



▲選手たちのプレーを見守る指導陣。それぞれの特長や個性を見極めながら、トレセンメンバーを選んでいます



A～Cの3チームに分かれ、総当たりの試合形式の中で選考を実施。選手たちのプレーも真剣そのもの



県サッカー協会では、各種別の強化・育成を目的にトレセン活動を行っています。その一つが、熊本市内の中学校サッカー部に所属する3種年代(U-13、U-14)を対象にしたトレセンです。月1回、熊本県フットボールセンターCOSMOSを会場に実施。部活動でサッカーをやっている子ども達にも、COSMOSの恵まれた環境で技術向上を目指してもらうのはもちろん、近年、クラブに優秀な選手が集まる中、部活生にも輝ける場を提供したいとの思いで開催されています。

指導に当たるのは、出水中学校の津田展良先生ら。全員が学校教員で部活

動の指導を行っていて、20～30代の若手指導者も含まれます。同トレセンの目的の一つは、指導者のスキルアップ。トレセン終了後にはディスカッションの場を設け、その日の選手たちへの声掛けや指導の仕方について意見交換やアドバイスをを行います。

現在、U-13、U-14でそれぞれ30人程度の選手が選考を経て参加しており、年度末にはトレセンでの成果を見るために、各地区トレセンチームと試合を行ったりします。選考する上でのポイントは、基本的な技術もさることながら、「ボールのないところでの動き」(体が大きい、(足

が)速い、ヘディングが上手いなど、一芸に秀でている」といった点も重視されます。

「このトレセンを始めて5年ほどになりますが、各学校で『選ばれたい、頑張りたい』という子ども達が増え、ここで仲良くなり、大会で切磋琢磨し合うという好循環が生まれています。そうした子達が、得たものをチームに還元してくれるのも嬉しいですし、さらに上の県トレセンに上がっていくこともあるので指導にも熱が入ります」と津田先生。選手、指導者それぞれにとって貴重な「学びの場」となっている熊本市中学校トレセンの今後が楽しみです。



▲試合の間には、各チームのコーチ役が試合の中で気付いた点や改善点をアドバイス

⇒大会結果、7ページからの続きです

〈女 子〉

KFA 第36回九州なでしこサッカー大会熊本県予選 熊本東ライオンズカップ
日程：4/6、7 会場：熊本県民総合運動公園スポーツ広場
結果：優 勝／熊本ルネサンスFC
準優勝／東海大学付属熊本星翔高校
第3位／熊本ユナイテッドSCフローラ

KFA 第50回熊日学童オリンピックサッカー競技(女子の部)
日程：6/29、30 会場：熊本甲佐総合運動公園サッカー場
結果：優 勝／嘉島セルシアFC
準優勝／MELSA熊本FCボニータ
第3位／ピアンカスにしはら

KFA 第43回熊本県女子サッカー選手権 兼 皇后杯 JFA 第46回全日本女子サッカー選手権大会熊本県大会
日程：7/6、7 会場：熊本県民総合運動公園スポーツ広場
結果：優 勝／東海大学付属熊本星翔高校
準優勝／水俣ユニオンFCウィメン

〈フットサル〉

JFA パーモントカップ第34回全日本U-12フットサル選手権熊本県大会
日程：5/11、12 会場：ウイングまつばせ
結果：優 勝／サイレコ・エスペランサ熊本
準優勝／嘉島セレシアFC
第3位／カベッサ熊本

JFA 第18回全日本大学フットサル大会熊本県大会
日程：6/9 会場：ウイングまつばせ
結果：優 勝／熊本大学フットサル部
準優勝／東海大学フットサル部
第3位／熊本学園大学

JFA 第11回全日本U-18フットサル選手権熊本県大会
日程：6/8、9 会場：ウイングまつばせ
結果：優 勝／秀岳館高校サッカー部
準優勝／矢部高校

JFA 第30回全日本U-15フットサル選手権熊本県大会
日程：8/31、9/1 会場：ウイングまつばせ
結果：優 勝／ヴィラノーバ水俣
準優勝／FKアドリア水俣A

JFA 第15回全日本U-15女子フットサル選手権熊本県大会
日程：9/1 会場：ウイングまつばせ
結果：優 勝／MELSA熊本FCソヒエア
準優勝／ヴィラノーバ水俣

JFA 第19回全日本ビーチサッカー大会熊本県大会

日程：7/21 会場：御立岬海水浴場
結果：優 勝／アヴェルダージ熊本BS
準優勝／エスターテ芦北

九州大会

〈1種 社会人〉

KYFA 第31回九州クラブチームサッカー選手権大会 全国大会予選
日程：7/27、28 会場：沖縄県総合運動公園蹴球場
結果：※FCバルサミコス(A代表決定)

KYFA 第60回九州社会人サッカー選手権大会全国大会予選
日程：8/24、25 会場：島原市営平成町多目的広場(長崎)
結果：※マリーゴールド熊本(1回戦敗退)

〈学 生〉

第48回九州大学サッカートーナメント大会
日程：2024年4～7月 会場：九州各県グラウンド
結果：※熊本学園大学(本選2回戦敗退)、
東海大学熊本(本選1回戦敗退)、熊本大学(予選敗退)

第6回九州大学サッカー新人戦
日程：2024年4～8月 会場：福岡大学グラウンド 他
結果：優 勝／九州産業大学
準優勝／福岡大学
第3位／熊本学園大学、長崎国際大学

令和6年度(第61回)九州沖縄地区高等専門学校体育大会 (サッカー競技)
日程：7/12～14 会場：大分スポーツ公園サッカーラグビー場
結果：※高専熊本(初戦敗退)、高専八代(初戦敗退)

〈3 種〉

令和6年度(2025年度)九州中学校総合体育大会
日程：8/4～7 会場：タピック県総ひやごんスタジアム(沖縄) 他
結果：※ルーテル学院中学校(九州第5代表として全国大会に出場)

〈女 子〉

KYFA 第36回九州なでしこサッカー大会
日程：5/11、12 会場：鹿児島県立サッカー・ラグビー場
結果：優 勝／MIGOCARISA鹿児島(鹿児島)
準優勝／FC琉球さくら(沖縄)
※熊本ルネサンスFC(2回戦敗退)、秀岳館高校(初戦敗退)

〈フットサル〉

第20回九州選抜フットサル大会
日程：6/22、23 会場：佐世保市東部スポーツ広場体育館(長崎)
結果：優 勝／長崎県選抜(第1代表)
準優勝／福岡県選抜(第2代表)
※熊本県選抜(予選敗退)

KYFA 第11回九州U-18フットサル大会
日程：6/29、30 会場：郡山体育館(鹿児島)
結果：優 勝／佐賀東高校サッカー部
準優勝／宮崎第一高校
※秀岳館高校サッカー部(予選リーグ敗退)

日本トリムPresents 第16回全国女子選抜フットサル大会九州大会
日程：8/3、4 会場：アスリートタウン延岡アリーナ(宮崎)
結果：優 勝／福岡県選抜 準優勝／宮崎県選抜
※熊本県選抜(Aグループ3位)

KYFA 第18回九州大学フットサル大会
日程：7/13、14 会場：ウイングまつばせ
結果：優 勝／長崎大学フットサル部FORZA
準優勝／北九州市立大学Stierdor
※熊本大学フットサル部、東海大学フットサル部(予選リーグ敗退)

KYFA 第19回九州ビーチサッカー大会2024
日程：8/31、9/1 会場：大崎町ビーチスポーツ専用競技場(鹿児島)
結果：優 勝／ラソアペーゴ北九州
準優勝／ドルソーレYUKUHASHI
※アヴェルダージ熊本BS、ESTATE芦北(準決勝敗退)

全国大会

〈女 子〉

JFA 第35回全日本0-30女子サッカー大会
日程：3/16、17、18 会場：時之栖スポーツセンター裾野グラウンド(静岡)
結果：優 勝／シュピーニ大阪(大阪)
準優勝／Legame(三重)
第3位／FC楓昂Lifelong(埼玉)
※熊本県代表ENSOWA KUMAMOTO(第5位)

〈フットサル〉

JFA パーモントカップ第34回全日本U-12フットサル選手権
日程：8/16～18 会場：武蔵野の森総合スポーツプラザ(東京)
結果：優 勝／戸塚FCジュニア(埼玉)
準優勝／静岡ジュニアFC・ピヴォ
第3位／サイレコ・エスペランサ熊本

トレメシ Vol.20 アスリートのための「トレーニング食(めし)」、レシピ

このコーナーでは、サッカープレーヤーをはじめ、アスリートのパフォーマンス向上に欠かせない栄養たっぷりのレシピを紹介します。ぜひお試しください!



10月に入り、ようやく少し暑さも和らいできましたが、この時期は、夏場の疲れが出てパフォーマンスが落ちることも…。せっかくの練習の成果をしっかりと結果に結びつけるためにも、練習後のケアや栄養補給で疲労を抜くことが重要です。

渡邊 まみさん／食育料理研究家、アスリートフードマイスター
熊本を拠点に大分でも料理教室の講師として活躍。また、長男は現在も社会人チームでサッカーをしているため、アスリートの食事にも精通。Instagram(mamipan358)で情報発信中。

recipe 1 あっさり食べられる! 塩麴鶏のチャーシュー

鶏むね肉には、体のエネルギー源であり、筋肉の材料にもなるたんぱく質のほか、血圧を下げる効果があるとされるカリウムなども含まれています。低カロリーで高たんぱくなので、スポーツ選手にはもってこの食材。塩麴に漬け込むことで肉が柔らかくなるだけでなく、美味しさもアップしますよ!



■材 料(2人分)
鶏むね肉300g
塩麴30g
醤油100cc
水100cc
みりん100cc
甜菜糖大さじ3
純米酢大さじ1/2
ショウガ1片
ネギの青い部分1本

【作り方】
【下準備】
鶏むね肉に塩麴をまぶして20分以上置く。生姜は薄切り。
【調理】
① 鍋に鶏むね肉と塩麴以外の材料を入れる。塩麴をまぶした鶏むね肉を入れて火を付ける。
② 煮立ったら弱火で2分。その後、肉をひっくり返してさらに2分。火を止めフタをして冷めるまで放置する。
※ゆで卵を入れるときは、ひっくり返して2分後にゆで卵を入れ、火を止めてフタをする。

recipe 2 玄米粉de黒糖蒸しパン

代表的な秋の味覚の一つ「さつまいも」。皮にも栄養素がたっぷり含まれているので、栄養を余すところなく摂取するためにも、皮ごと調理するのがおすすめ! エネルギー源となる炭水化物はもちろん、カルシウムやマグネシウムなど、人間に必須のミネラルも豊富なので、疲れた時ほど積極的に食べるようにしましょう!



■材 料(6個分)
玄米粉 or 米粉100g
黒砂糖20g
塩ひとつまみ
豆乳100g
さつまいも100g
ベーキングパウダー5g

【作り方】
① ボウルにさつまいも以外の材料を入れてよく混ぜ、サイコロ切りにしたさつまいもを半分入れて混ぜ合わせる。
② ①をカップに入れ、上に残りのさつまいもを散らす。
③ 沸騰した蒸し器に入れてフタをし、強めの中火で13～15分蒸して出来上がり。
※蒸し器がない場合は、深めのフライパンに1cm程度水を入れて湯を沸かし、その中に皿に乗せたカップごと入れればOK!



「KFA NEWS」は、ここで手に入れよう!

「KFA NEWS」は、サッカー協会員以外の一般の方でも手にいれることができます。事務局にお越しいただくか、下記URLからダウンロードできます。

<http://kumamoto-fa.net/about/news/>

右記QRコードからも
アクセスできます➡



編／集／後／記

普段、部活動に関わらせてもらい、サッカーと触れ合う身としては、今回の特集のクラブやトレセンによる活動を通じて、改めて熊本県全体でサッカーの裾野が広がっていることを実感しました。私自身も熊本市の中体連トレセン活動に参加しており、普段は違うチームの選手やコーチが集まってサッカーを語り合う楽しさを存分に味わわせてもらっています。このKFA NEWSもたくさんの方の目に留まり、普及の一翼を担えればと感じています。

(3種 山本)

2種委員会では、高校の部活動という形だけではなく、FC.ALURA(アルーラ)のようなクラブでサッカーに関わり続けていくチームが発足し、選手の多様性を受け止めながらサッカーを続けていくことができるようになりました。私も指導者として、子ども達が進学・就職後もサッカーに関わってくれることに期待しながら、熊本の高校サッカーを盛り上げて行きたいと思います。

(2種 木村)